

令和4年7月29日

かぶとバイオフィーム合同会社向けシンジケートローン形式による「グリーンローン」への参加について

トモニホールディングスグループの徳島大正銀行は、「かぶとバイオマスプラント有限責任事業組合」代表組合員である「かぶとバイオフィーム合同会社」（大阪市北区、代表社員：三和電気土木工事株式会社）に対するシンジケートローン形式によるグリーンローンに参加しましたので、お知らせします。尚、本ローンは、牛糞を原料とするバイオガス発電事業への、国内初の「グリーンローン」案件となります。

本プロジェクトは、岡山県笠岡湾干拓地で畜産業を営む畜産農家7軒と三和電気土木工事株式会社（大阪市北区、代表取締役 森 博明）が設立した「かぶとバイオフィーム合同会社」が組合員となって設立した「かぶとバイオマスプラント有限責任事業組合」が事業を行うものです。同市の笠岡湾干拓地では肉牛と乳牛計約1万頭が飼育されており、大量の牛糞処理と臭気管理が大きな課題となっております。当有限責任事業組合と三和電気土木工事株式会社は同市と協定を締結し、牛糞から出るメタンガスを活用したバイオガス発電施設を運営することで、再生可能エネルギー発電によるSDGs貢献、地域資源の循環、臭気低減並びに同市の産業活性化を図ってまいります。

本ローンは、株式会社日本格付研究所（JCR）より、十分な環境改善効果が見込まれ、且つ、環境面・社会面における潜在的にネガティブな影響への配慮がなされているプロジェクトとしての確認がなされ、グリーンローン原則が定める資金使途・プロジェクトの評価と選定プロセス・調達資金の管理・レポート・発行体の環境活動の第三者評価も取得し、最上位の「Green 1(g1/ml)」の評価を受けています。

当行は、今後もESG金融の拡大に努め、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

記

【シンジケートローンの概要】

借入人	かぶとバイオフィーム合同会社
契約締結日	令和4年7月26日
アレンジャー/エージェント	株式会社 三菱UFJ銀行
組成金額	35億円
資金使途	バイオガス発電所建設資金
参加行	株式会社 徳島大正銀行 他 地方銀行3行、信用組合1組合

以上

※SDGs 「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」

17の目標と169のターゲットから構成される2030年までの世界共通目標のこと。貧困や飢餓、エネルギー、気候変動、平和的社会など、持続可能な開発のための諸目標を達成すべく様々な取組みを行なっています。

